

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	河寄 唯衣 【ライフサイエンス専攻 平成27年度生】	<p>本研究は、病院食の摂取量評価法として汎用されている目測法の現状について検討した研究である。研究1で、目測法を用いた病院食の摂取量評価の業務の内容、摂取量データの活用状況、正確な評価の障壁を示し、研究2では、目測法の妥当性・信頼性の検討を行った。その結果、病院で提供される様々な食事の評価の目測法の妥当性は高かったが、喫食率や補助食品の付加された食事では、妥当性は低かった。最後に、研究3では、正確な評価実施のための訓練に着目し、目測法の訓練を経験した評価者の特徴を示した。その結果、目測法の訓練経験者は、栄養管理についてより多くの知識を有し、妥当性向上のための技術の使用頻度が高かった。</p> <p>学位論文審査には、食品栄養科学領域の先生方に審査にあたっていただいた。第1回審査委員会（2017年12月14日）において、論文内容は審査を受けるに十分であることが評価され、12月19日、口頭発表が行われた。その後、審査会で指摘を受けた事項について、修正された論文が提出された。審査委員の質問・指摘について、的確に対応し修正されていたことを確認し、審査委員会は公開発表会を行うことを決めた。公開発表会は2018年1月9日に開催された。発表内容においても前回の指摘事項が修正され、質疑応答も、的確に回答した。その後開催した審査会（2018年1月9日）にて、審査委員会は本論文に対して、以下の点を評価した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目測法を用いた病院食の摂取量評価について、業務の実情を踏まえて妥当性・信頼性を検討したこと 2. 評価者訓練の必要性を示したこと <p>本論文に関する研究成果はすでに第1著者として国際誌 <i>Clinical Nutrition</i> (2016, 35 (6), 1543-1549), <i>Topics in Clinical Nutrition</i> (2016, 31 (4), 335-345), <i>International Journal of Health Care Quality Assurance</i> (2016, 29 (8), 835-845) で発表されている。</p> <p>以上を総合して、本審査委員会は、本論文を、本学大学院人間文化創成科学研究科における博士(学術), Ph.D. in Clinical Nutrition の学位を受けるにふさわしいと判断した。</p>
論文題目	病院食の摂取量評価における目測法の検討	
審査委員	(主査) 教授 赤松 利恵	
	准教授 須藤 紀子	
	教授 飯田 薫子	
	教授 村田 容常	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 (<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 否)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> </div> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	